

平成 26 年度事業報告書

I. 事業期間

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

II. 事業の成果

特定非営利活動法人安全安心科学アカデミー（仮認定 NPO）（以下、NPO という）設立の目的

である、住民と共に放射線・原子力の問題についてコミュニケーションを図り、エネルギー問題、地球温暖化問題、環境問題、放射線、原子力等に関する諸問題を住民主導で対処できるようにするための事業活動を行った。その概要を示す。

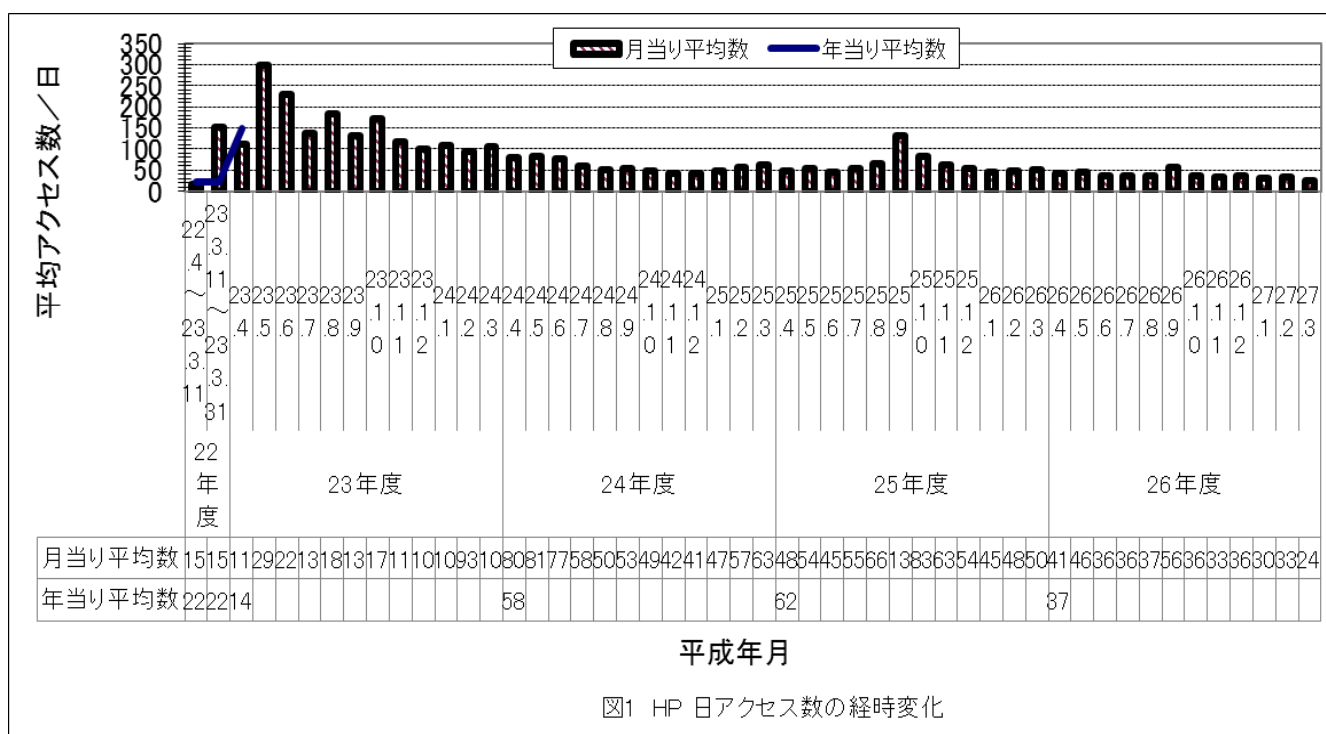
1. 特定非営利活動に係わる事業

1.1 社会教育の推進を図る活動

項目	平成 26 年度当初計画	実績	評価
1) ホームページによる 広報活動	ホームページによる広報活動を積極的に行う	ほぼ例年通りの広報活動を実施した。	ほぼ例年通り
2) 会員に対する資料の配布	NPO 及び NPO の趣旨に関連する資料の配布	1. 平成 27 年版の若狭カレンダー(関西原子力懇談会提供)(26 年 12 月) 2. 小冊子「放射線の素朴な疑問 教えて先生!それって本当?」(27 年 2 月)	ほぼ例年通り
3) 講演会	NPO に関連した各種講演会・勉強会の開催	1. ①「ウラン鉱床の分布から見た地質環境の安全性」 笹尾英嗣(東濃地科学センターグループリーダー) ②「深部地下構造の安定性」 西村進(京都大学名誉教授) 5/23(金) 26 名 2. 「放射線の素朴な疑問～教えて先生それって本当?～」 講師 小川喜弘(近畿大学 准教授)、安岡由美(神戸薬科大学 講師)、藤川陽子(京都大学原子炉実験所 准教授) ファシリテータ坂元晶子(コミュニケーションセミナー講師)、	ほぼ例年通り

		豊田亘博(大阪大学 特任研究員) 11/21 (金) 出席者 30 名 ※日本原子力文化財団の NPO 支援事業	
		3. 「原子力と放射線を振り返って 40 年」 飯田敏行 (大阪大学教授) 3/23 (月) 出席者 56 名	
	保物セミナー 2014 の共催事業	保物セミナー 2014 を電子科学研究所、大阪科学技術センター、近畿大学原子力研究所との共催で実施した。 12/9 (火) 出席者 163 名 詳細は NPO の HP 参照願います。	

安全安心科学アカデミー ホームページ現況報告



平成 26 年度の安全安心科学アカデミーホームページ広報の概要

<今年度の HP アクセス概要>

- ・平均 40 アクセス/日 (昨年: 64 アクセス/日 一昨年: 46 アクセス/日)
- (閲覧数は昨年比約 40% 減少)

<閲覧者数>

～2015.3.31 までの 1 年間アクセス 14,461 (2003 年 HP 開設以来累計 151,463 件)

<掲載項目>

- 放射線被ばくへの健康影響 ○放射線防護の議論 ○リスクコミュニケーション
- 医療放射線 ○放射線照射利用 ○ICRP 放射線規制法令 ○トリチウム
- 地球環境 ○放射線教育 ○原子力災害への対応 ○放射線管理 ○放射線の単位用語・測定
- エネルギー問題 ○環境放射線 ○原子力と環境問題 ○おすすめの本 ○トピックス
- スクラップ記事 ○アスベスト問題 ○放射線・原発報道の解説&論評 ○劣化ウラン
- ポロニウム ○フェロシルト ○廃棄物 ○放射線事故 ○電磁界（電磁波問題）
- 安全安心科学アカデミーの案内 ○「放射線・エネルギー・環境・サイエンスに関する情報と議論（他サイト情報リンク）」

<執筆者>

26 年度延べ 19 名 (累計延べ 366 名)

<論文数>

26 年度 19 編 (累計 406 編)

<広報・案内>

- ・保物セミナー 勉強会の案内 お知らせなど 8 件
- ・外部サイトリンク情報 15 件

1.2 地域安全活動

項目	計画	実績	評価
1)メールマガジンによる広報	NPO 会員及び関係者、団体に対して随時 Eメールによる情報発信を行う。	4/25 平成 26 年度第 1 回講演会案内 8/27 日本原子力文化財団の講師派遣事業の案内 9/11 原子力・エネルギー図面集 2014 回送について 10/9 「保物セミナー 2013」の案内 10/24 「保物セミナー 2013」ポイリング・デイ	ほぼ例年通り

		スカッション講師の新聞記事紹介 2/23 平成 26 年度第 2 回講演会案 内	
3)交流会・懇親会	交流会・懇親会を随 時 開催	1. 笹尾・西村先生を囲む会 5/23 (木) 18 名 2. 飯田先生を囲む会 3/23 (月) 出席者 50 名	ほぼ例 年通り
4)委託研究の受託	委託研究の受託	既報 11/21 (金) 30 名を集めて開 催の「放射線の素朴な疑問～教えて 先生 それって本当?～」を日本科学技 術振興財団からの委託事業を受託 した。 日本科学技術振興財団等へ申請し たが不採用となった。件名：地層 処分等	ほぼ例 年通り

1.3 国際協力の活動

1) 台湾・中国との交 流 活動	台湾・中国との交流 活動	台湾の大学へ資料提供を行った。	ほぼ例 年通り
------------------------	-----------------	-----------------	------------

1.4 他団体と運営又は活動に関する連絡、助言又は援助活動

1) 共催「保物セミナー 2014」事務局業務を 連絡、助言又は援助 活動		同左事務局業務を行った。	ほぼ例 年通り
2) 他団体と協賛・協 力して市民活動を行 う		共催「保物セミナー 2014」事務局業務 を行った。	ほぼ例 年通り

Ⅲ. 会員総会等の開催状況

1)平成 26 年度第 1 回 理事会	平成 26 年度第 1 回 理事会	5/23 (金) 出席者 10 名 下記の 4 件が提案され、原案通り決 議された。 1. 平成 25 年度事業報告と活動決算 等報告の承認 2. 平成 26 年度事業計画と活動予算 の承認	ほぼ例 年通り
------------------------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

		3. 役員を選任 4. その他	
2)平成 26 年度通常総 会	平成 26 年度通常総 会	5/23 (金) 出席者 22 名 上記第 1 回理事会決議事項同上 1～ 4 について討議、原案通り決議され た。	ほぼ例 年通り
3)平成 26 年度第 2 回 理事会	平成 26 年度第 2 回 理事会	3/23 (月) 1)平成 26 年度事業報告等 2)平成 27 年度暫定予算案 3) 理事の一部変更 上記について討議、原案通り決議さ れた。	ほぼ例 年通り

2. 収益事業

なし